

子供たちが犯罪に巻き込まれない為に、犯罪を犯さない為、私たちが出来る事とは子供たちの心のサインをつかむ為には…

#### 4ブロック

- ・悪ふざけをする子供がいても注意しない。
- ・ルール、マナーを大人たちが教えてあげるべき。
- ・子供たちはストレスが溜まっている。余裕がない。
- ・女の子は自分の気持ちをオブラートに包んで発言している。
- ・親の期待、よかれと思ったことが子供のストレス→コミュニケーション不足？
- ・メールが普及されている為、友達と会話がうまくできない。
- ・お弁当で子供の精神状態を見る。
- ・クラスの問題をみんなで考える事が無い。個々で解決する。
- ・東中を卒業したら外に出て、はじける可能性が有る。
- ・コミュニケーションはお互いの気持ちを伝える事。まずは第一に挨拶。挨拶の声のトーンで子供のサインを大人が見抜いてあげる。→しつけ、マナーを教えてあげる→犯罪防止につながるはず

#### 5ブロック

- ・携帯電話の利用のしかた
- ・遠い所の子供は部活の帰りの連絡を取りたいので学校に携帯を持たせたい。
- ・防犯ブザーの全員支給
- ・不審者に対する回避のしかたを実体験する場合、恐怖心、ショックを受ける子供もいるので慎重にやらないといけない。
- ・不審者が多い現代はすれちがう人、会う人すべてを疑うようになると職業差別など、また違う問題が出てくる。
- ・色々な事件を通して親子で話あうことが大事。

最後にグループごとに話し合いの内容を発表しました。

地区別教育懇談会は小中の先生方や地域の方を交えて語り合える貴重な機会です。今回不参加だった保護者の皆さんはぜひ来年度参加してみてください。